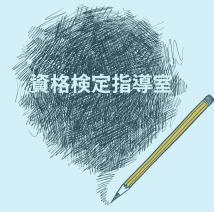


# 資格検定 NEWS



岡山県立倉敷工業高等学校 資格検定指導室

欲しいのは人だ。必死で探している。

(藤浩志)

「これはあなたの仕事。私の仕事ではない」と言っただけからぬ組織は脆（もろ）い。だれの仕事でもないが、だれかがそっとやっておかなければならない仕事が、じつは全体を支えている。どこかに油断はないか？ だれかにしわ寄せが行っていないか？ そんなふうに関心する人がいるか否かが、組織の帰趨（きすう）を決める。十和田市現代美術館長の口をふとついて出たことば。

<出典>朝日新聞 2015/ 8/ 27 折々のことば 鷲田清一 編

## 「思う」と「考える」

「私はそう思う」は「私はそう考える」とどこが違うのだろうか。「思っている」はあることを心に浮かべている状態を連想させるが、「考えている」なら、それが正しいと思っている場合だけでなく、まだ考慮中で結論が出ていないという意味にもなる。

「一瞬」と来れば「思う」が自然で、「じっくり」と来れば「考える」と続く。

「思う」は心に瞬間的に浮かぶ情緒的な判断をさし、一方、「慎重に考えて結論を出す」とか「よく考えてみると」といった例では「思う」に換言できないことから、「考える」のは、頭である時間をかけて行う理知的な思考をさすようだ。井伏鱒二の「鯉」という小説に「不安に思ったが、暫く考えた後で」というふうに「思う」と「考える」が続けて出てくるが、それぞれの動詞の置き換えが利かない。「思い人」は「考える人」とは違うのだ。

両者が名詞になった「..思い」と「考え」を比べても、「思い」が、心に瞬間的に浮かんでくる希望から決意までの主観的な思い入れをさすのに対し「考え」はそれを具体化する段階の思考内容をさす。

総理の「思い」だけでなく、政策といった「考え」がしっかりしていないと政治は機能しない。

(早稲田大学名誉教授 中村 明)

<出典>朝日新聞 2015/ 1/ 31 朝刊 東京本社